

## 来月の消費予報

# 10連休を控えコト消費への意欲がみられる一方、 将来不安から、消費意欲指数は前年並みにとどまる

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

5月の消費意欲指数は47.5点。前月比+0.8ポイント、前年比-0.8ポイントと、前月比・前年比ともに横ばいとなりました。

### 5月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+0.8 ポイント

-0.8 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

### カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★UP：前月比/前年比で20人以上増加 ●DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

### 5月のポイント

#### Point 1：大型連休を控え、コト消費への意欲の高まりがみられる

今年のゴールデンウィークは10連休の大型連休ですが、消費意欲指数は前月比・前年比ともに横ばいとなりました。消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、「GW、連休があるから」(18年5月123件→19年5月150件)が前年より増えており、大型連休が消費意欲を刺激していることがわかります。また、特に買いたいモノ・利用したいサービスの前月比をみると、「旅行」「外食」「レジャー」の3項目で前月から20件以上増えており、連休を意識したコト消費への意欲の高まりがみられます。

#### Point 2：女性を中心に節約意識も高い。将来不安が影響か

一方で、消費意欲指数の理由(自由回答)をさらに見てみると、「節約・儉約したい」(18年5月52件→19年4月49件→19年5月88件)が前月や前年に比べて増えており、その中には前月にはなかった「先行き不透明」という言葉が散見されます。また、特に買いたいモノ・利用したいサービスについても、前年との比較では「ファッション」「装飾品」「飲料」「化粧品」などの7項目で20件以上減少したほか、「スマートフォン・携帯電話」「家電・AV」を除くすべての項目で前年比マイナスとなっています。増税や改元といった社会の大きな変化を目前に、漠然とした将来不安から手放しでは消費意欲を高めきれずにいるようです。

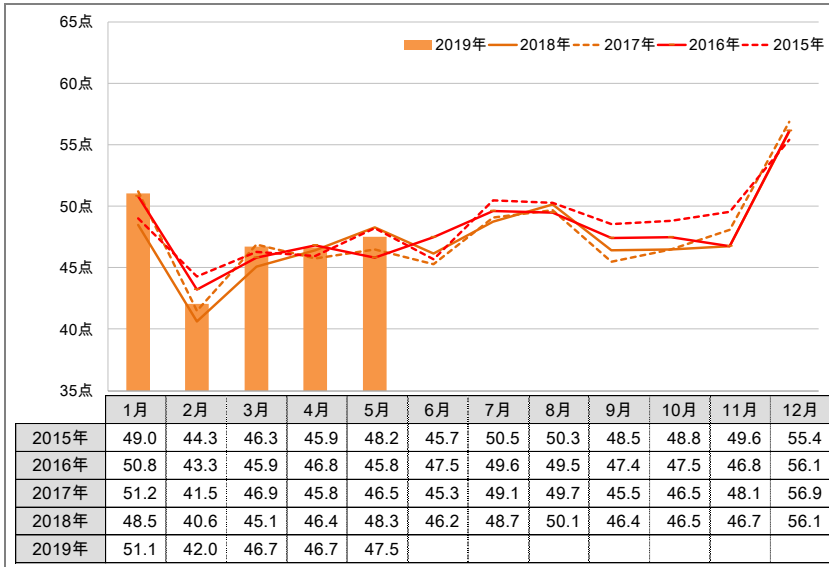
なお、消費意欲指数の前年比は男性では横ばいとなったのに対し、女性では-1.8ポイントと低下しています。また「節約・儉約したい」という声の内訳をみると、女性では前年から倍増(男性：2018年5月24件→2019年5月34件、女性：2018年5月28件→2019年5月54件)。消費税増税を理由に消費を控えたいという声も、主に女性であっており、将来不安は女性で特に強まっているようです。

消費意欲指数

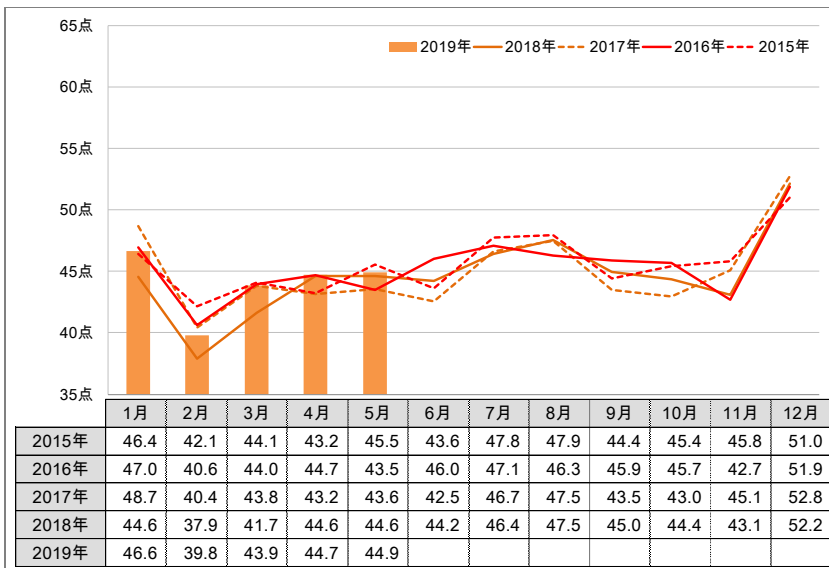
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

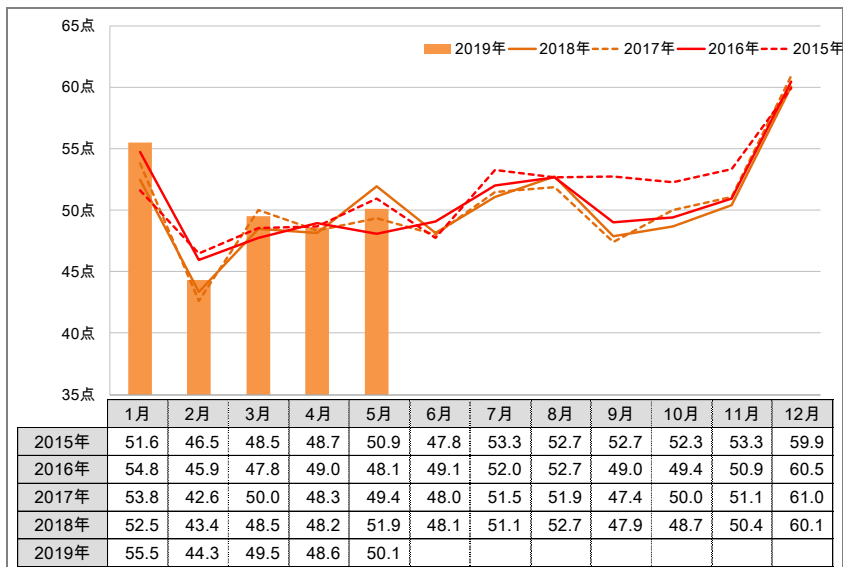
【全体】



【男性】



【女性】



## 補足資料②

### ■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### <生活者の声～消費意欲指数の理由～【GW、連休があるので意欲が高まる】>

- ・大型連休があるので、いつもとは違うことを体験したいから(80点・男性23歳・東京都)
- ・GWがあり、旅行やそれにかかる消費が多いと見込んでいるから(90点・女性35歳・愛知県)
- ・5月は、休みが多いので好きなものを買いたい(90点・女性58歳・奈良県)
- ・10連休もあり、皆遊び気分一杯(90点・男性69歳・大阪府)

#### <生活者の声～消費意欲指数の理由～【節約・節約したい】>

- ・出費を抑えたい(30点・男性28歳・三重県)
- ・節約をしないといけない時期なので(30点・男性36歳・東京都)
- ・無駄使いしたくない。増税が怖い(50点・女性43歳・神奈川県)
- ・先行き不安なので、節約したい(50点・女性55歳・愛知県)
- ・出来るだけ消費したくない(0点・男性63歳・大阪府)

( )内点数:消費意欲指数

## 特に買いたいモノ・利用したいサービス

### ■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2019年5月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	26.1	+1.4	-3.7
男性	24.1	+0.4	-1.4
女性	28.1	+2.5	-6.1

### ■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(391人)

参考:男性(182人)

参考:女性(209人)

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	188	+36	-11
2	ファッション	186	-23	-55
3	外食	183	+52	-28
4	食品	147	+2	-20
5	レジャー	131	+34	-8
6	書籍・エンタメ	110	+19	-13
7	飲料	101	-6	-34
8	家電・AV	97	-6	+5
9	化粧品	77	-15	-34
10	理美容	75	-2	-29
11	日用品	70	-5	-17
12	インテリア用品	60	-2	-16
13	パソコン・タブレット・周辺機器	45	-10	-19
13	スマートフォン・携帯電話	45	+2	+14
15	装飾品	41	-15	-41
16	車・バイク	38	+3	-6

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	92	+14	+5
2	外食	77	+21	+1
3	食品	64	-5	+2
4	ファッション	63	-11	-9
5	書籍・エンタメ	55	+5	-8
6	レジャー	52	+8	-5
7	飲料	48	-9	-6
8	家電・AV	47	-17	-2
9	パソコン・タブレット・周辺機器	32	-7	-13
10	車・バイク	31	+1	-4
11	スマートフォン・携帯電話	22	-6	+3
11	日用品	22	-8	+2
13	インテリア用品	21	-10	-1
14	理美容	17	-3	±0
15	装飾品	15	-12	-14
16	化粧品	10	-5	-6

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	123	-12	-46
2	外食	106	+31	-29
3	旅行	96	+22	-16
4	食品	83	+7	-22
5	レジャー	79	+26	-3
6	化粧品	67	-10	-28
7	理美容	58	+1	-29
8	書籍・エンタメ	55	+14	-5
9	飲料	53	+3	-28
10	家電・AV	50	+11	+7
11	日用品	48	+3	-19
12	インテリア用品	39	+8	-15
13	装飾品	26	-3	-27
14	スマートフォン・携帯電話	23	+8	+11
15	パソコン・タブレット・周辺機器	13	-3	-6
16	車・バイク	7	+2	-2

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

■ : 前月比/前年比で20人以上増加

■ : 前月比/前年比で20人以上減少

## 調査概要

### ■ 質問項目(質問文)

#### [消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)  
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### [特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)  
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

**調査概要** 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

**調査地域** ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

**調査対象者** 20～69歳の男女

**対象者割付** 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

**サンプル数** 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1,500

**調査方法** インターネット調査

**調査時期** 2019年4月4日(木)～8日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

**調査機関** 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

**問い合わせ先** 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・夏山) TEL.03-6441-6450  
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

**データ公開** 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2019-05/>)からダウンロードしていただけます